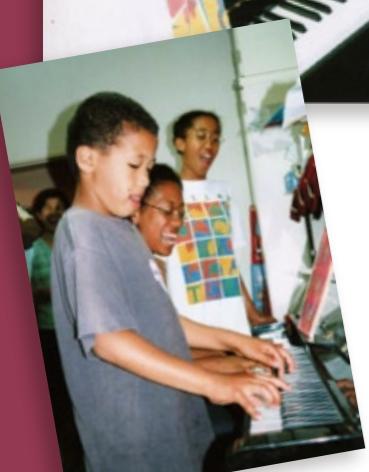


アーノルドにはそのための本がある。日本にはそういう本がないね。翻訳したものもあるけれど、アメリカ人にはアメリカの考え方があるし、日本には日本人独特の接し方があるでしょう。例えば、お風呂に子どもと一緒に入るとか。そういうことは、ドブソン博士は書けないね（笑）。僕の友達が、家に帰つて来ても家族と話が合わなくて、御飯を食べ終わつたら一人でずっとテレビを見てる。子ども三人とお母さんは他のところで別の事を賑やかにしているけど、家族と話ができるないのは、情けないなあと思う。

夫婦でも、意見が合わないことはあります、クリスチャンならば一緒に聖書を読んで祈ることが出来ます。一般的には赦せない時にも、聖書には「七

陽子 話だと、売り言葉に買い言葉で、思つていいことも言つてしまいますよね。傷つけられたら、傷つけ返そうつてなると、「イエス様、ちょっとそつちに行つて下さい」つていうくらいに、感情に走つてしまいますが、手紙に書くと、相手とその場で面と向かつていなから冷靜に書けるし、それから何度も読み直すことによつて気持ちが落ち着くんですね。

醜いですよ、口で喧嘩をするつていうのは。ポイントから外れてしまふ。何年も前の事が出て来たりとか、全然



ラッカー・ゴスペル・ミニストリー
〒182-0022 調布市国領町4-33-29-A304
Tel/Fax 事務局0424-85-0331
スタジオ0424-82-9464
ronruck@�in.or.jp URL <http://www.ronruck.com>

「内藤先生の家庭セミナー」

最新刊! 本誌に連載され大好評を得たシリーズの単行本。意外と知らないクリチバンホームの基本原則を内藤耕氏が名調子で語ります。日本人の心にピッタリ! 各章にディスカッションガイドがついて、魅力アップ。 四六版変形、128ページ ●定価1,050円(税込) ご注文は☎045-933-3875、19ページのファックス用紙もしくはEメールをご利用下さい。

陽子 ビデオを一緒に見ることでもいいし。日本人の家族を見ていて、運動会にお父さんたちが来るのは、いいなあと思いますね。お弁当を一緒に食べたりとか、懸命に応援したりとか、日本の運動会は家族の集まる場所になつてゐるなと思います。

ラニー バブルがはじけてから、会社でそんなに遅くまで働くなどよりもよくなつたお父さんは、家族ともっと接したいと思っています。でも、どうやつたらいいか分からない。

回の七十倍まで赦しなさい」と書いてあります。牧師先生に相談することも出来ます。やっぱり忍耐が必要ですよ。若い時は相手に合わせられるけど、年をとつてくると趣味も違い、考え方も違います。自分勝手にやつていきたくなるんじゃないかな。

陽子 具体的には主人が、何か私に対する態度で言いたいことがある時は、態度で出てきますね。逆の場合も同じですね。ずっと長く一緒にいるから、相手がおかしいな、とすぐに思いますよね。必ず。「なんで「口きかないの」とか、「なんでそういう態度を取るの」とか相手に聞いて、そこから対話をが始ま

話しが噛み合わない。今でも主人の言つてていることにいい加減に返事をしてしまって、彼に「ちゃんと分かつて返してみて」って言われて初めて、間き流していた自分に気付いたりしましたよね。

「お昼には、どことどこでとんかつ食べようかな」(笑い)、なんてとんでもないことを考へてるんです。アメリカの有名な人が、「コミュニケーション」と書いています。日本の人、アメリカ人に關係なく、誰でももっと人の話の聞き方を勉強することが必要ですね。

●テンボよく進む会話が、耳に快感でした。やはり、音楽一家だからか。2007年早春、いのちのことば社から、ラニーさん初のソロCDを発売予定。曲目は、聖歌中心とのこと。お楽しみに!

「お昼には、どこどこでとんかつ食べようかな」(笑い)、なんてとんでもないことを考へてるんです。アメリカのある有名な人が、「コミュニケーションには、二人が必要だ、話す人と、聞く人だ」と書いています。日本人、アメリカ人に関係なく、誰でももつと人の話の聞き方を勉強することが必要ですね。

●テンポよく進む会話が、耳に快感でした。やはり、音楽一家だからか。2007年早春、いのちのことば社から、ラニーさん初のソロCDを発売予定。曲目は、聖歌を中心とのこと。お楽しみに!

陽子 子どもたちにとつては、教会に行くのが自然ですよね。
う。

ラニー 父親は家の「祭司」だと思
陽子 ラニーは、神さまに追い込まれ
ちゃつたのね。銀座で働いていた時は、
朝の3時とか4時に帰つてくるので、

ら、それがない子どもとはやはり違います。

つづく否定的ですよ。私一人くらいですよ、「この一学期で、こういうことができるようになった」なんて言つてみんなが「うおーっ！」って驚いたり。(笑い)

できるのが、大きな絆ですよね。子どもたちも贊美することが大好きで、練習は厳しいですけど、別にミュージシャンにしようと言うわけではなく、神様を贊美するためなんです。

ラニー 音楽じやなくてもいいんです。
近くの佐藤さんという家では、家族で

を早めに食べて、近所を家族で散歩していた時に、歩いて行ける距離に調布南教会があつたんです。そこで陽子がクリスチャンになつて、後から子どもたち三人も神さまを信じました。これでは今から考へても「大正解」と思う。なぜなら十七歳の長女が、現在は世の中の影響を強く受けてるけど、キリスト教の土台が出来てゐるから。だから聖書を開くし、神様からそんなに遠くには離れない。流行に流されても、箴言22章6節にあるように「若者をその行く道に、ふさわしく教育せよ。」うすれば、年老いてもそれから離れないとと思う。

「訓練されたんですね。それから神さまに「教会を出て、全国でわたしのことわけじやなくて、まだ一般社会でも仕事をしていました。音楽教室を開いたりして、暮らしを立てていたんですね。

陽子 父親が変わつてくると、子どもたちも変わつて来ますよね。長女は、妹弟よりも先に世の中を体験します。日本語は話せても外見は日本人じゃないから、いろいろな思いを持ちますが、聖書が基礎に入つてゐるか

ことになる。親は子どもに自分の敗戦を発揮するチャンスをあげることが大切じゃないかと思う。ある子は勉強が好きな子、料理ができる子もいるんじゃないかな。

陽子 そういう環境を作つていかなくちゃいけないわね。

ラニー 日本では、自分の家族の良いことを人に言うのは少ないみたいだね。

陽子 どうしても自慢しているようなられちやうのよね。学校のPTAに行つてもそうですよ。自分の子の良いところは、ひとつも言わない。親がす

陽子 否定的にではなくて、肯定的に
考えなくちゃね。何か失敗をしてし
も、「ああ、あの時パパがあやつて
励ましてくれた、またやればできるん
だ、やってみよう」と考えて欲しいで
すね。

ラニー 子どもを育てるのは、人間を
作る仕事だから、二十歳ぐらいになつ
たら元気に世の中に出でて行く子を作る
のが、親の仕事ですね。

A man with glasses and a white shirt stands behind a podium, speaking. He is positioned in front of a large banner with Japanese text. The banner includes the phrase "前にあなたがたの心を信す" (Before you believe in your heart). The background shows a church interior with a cross and flowers.

事だね。毎日子どもと一緒に聖書を持
んだりしないとだめ。子どもたちの土
能を伸ばすことについては、ずっと並
えています。生まれた時から、誰でも^メ
賜物があるはずだよ。ワールドクラフ
の賜物があるかも知れない。親がどう
やって、それを引き出すかです。

二つの文化を持つていて、半分半分なんだと自分で割り切って居直つてますね。

ラニー 息子はジョン・E・ラッカーレーと言います。ミドルネームのEは、本当はエドワードなんですが、僕はわざと彼に聞くんです。「キミの名前のEは、何の意味なの?」すると、息子は「エドワードだよ」と答えます。だから私、言つうんです。「いいや、エクセレント(優秀)のEだよ」ってね(笑い)。すると、ジョンの顔が変わつて来ます。

